



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東
コード番号 6190 URL https://phoenixbio.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 島田 卓
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 田村 康弘 TEL 082 (431) 0016
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	881	△22.3	△5	—	45	△88.6	27	△92.3
2023年3月期第2四半期	1,135	78.0	367	—	403	—	356	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 63百万円 (△83.6%) 2023年3月期第2四半期 389百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	7.53	5.22
2023年3月期第2四半期	107.65	71.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,176	1,649	51.5
2023年3月期	3,018	1,514	49.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,634百万円 2023年3月期 1,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,817	△14.5	8	△98.3	45	△91.0	24	△95.1	6.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	3,753,915株	2023年3月期	3,633,815株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	45株	2023年3月期	45株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	3,667,294株	2023年3月期2Q	3,315,679株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行し、社会経済活動の正常化が進むなかで緩やかに回復しているものの、エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇、各国の金融引き締めによる海外景気の下振れ懸念など、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの顧客が属する医薬品業界では、世界人口の増加と新興国の所得水準の向上を背景として市場は成長しておりますが、特許切れによる後発薬の台頭、新薬開発の長期化等により製薬企業の収益性は厳しさを増しております。一方で、潤沢な資金を持つ大手製薬企業は、新たな収益源を求めて有望なパイプラインには積極的に投資する等、M&Aによる業界再編が進んでおります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO（開発業務受託機関）へ委託するケースが増えており、リモートワークが進んでいる状況下も相まって、当社がターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は一層増加しております。

このような状況のもと、当社グループでは世界の大手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心に、マウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス（当社製品名：PXBマウス）を用いた受託試験サービスを提供しております。

当社グループの主要顧客である製薬企業や研究機関におけるPXBマウスの需要は海外市場を中心に増加しており、多くの引き合いを頂いております。受注高は全体で前年同期を上回り、安全性等分野においてはマウス販売等が堅調に推移しており、核酸医薬品でのPXBマウス需要も安定していることから前年同期を大きく上回りました。一方で、薬効薬理分野については海外製薬企業の予算見直しによる抗B型肝炎薬の開発中止や大幅な延期の余波を受け、前年同期を大きく下回りました。売上高については安全性等分野においては前年同期を上回ったものの、薬効薬理分野では大型案件の反動減や受注の失速から前年同期を大きく下回り、全体では減収となりました。損益面につきましては、売上原価は人件費、水道光熱費等が増加しており、販売費及び一般管理費においても人件費を含めた営業経費等が増加していることから、営業赤字となりました。一方で、経常損益については円安の進行に伴い為替差益を計上しており、黒字となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は881,757千円（前年同期比22.3%減）、営業損失は5,084千円（前年同期は営業利益367,206千円）、経常利益は45,868千円（前年同期比88.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27,626千円（前年同期比92.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,574,865千円となり、前連結会計年度末に比べ282,749千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が167,367千円、原材料及び貯蔵品が61,749千円、売掛金及び契約資産が55,845千円、それぞれ増加したことによるものです。また固定資産は601,549千円となり、前連結会計年度末に比べ124,995千円減少いたしました。これは主に投資有価証券の償還及び繰延税金資産の取崩しに伴い、投資その他の資産が143,682千円減少したことによるものです。この結果、資産合計は3,176,414千円となり、前連結会計年度末に比べ157,753千円増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,306,068千円となり、前連結会計年度末に比べ19,930千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が50,714千円減少した一方で、その他が55,218千円、前受金が13,233千円、それぞれ増加したことによるものです。また固定負債は220,750千円となり、前連結会計年度末に比べ2,696千円増加いたしました。この結果、負債合計は1,526,818千円となり、前連結会計年度末に比べ22,627千円増加となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,649,595千円となり、前連結会計年度末に比べ135,125千円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使等により資本金が33,901千円、資本剰余金が33,901千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が27,626千円、為替換算調整勘定が25,494千円、それぞれ増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ167,367千円増加し、1,722,690千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は33,164千円(前年同期は38,681千円の獲得)となりました。これは主にその他62,601千円、税金等調整前四半期純利益63,154千円があった一方で、棚卸資産の増加58,863千円、売上債権及び契約資産の増加55,845千円、為替差益26,308千円、投資有価証券償還益17,285千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、獲得した資金は124,312千円(前年同期は2,802千円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出20,769千円があった一方で、投資有価証券の償還による収入153,400千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は19,646千円(前年同期は29,081千円の使用)となりました。これはリース債務の返済による支出18,150千円があった一方で、新株予約権の行使による株式の発行による収入37,797千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月15日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,555,323	1,722,690
売掛金及び契約資産	286,720	342,566
製品	77,542	61,103
仕掛品	115,037	130,744
原材料及び貯蔵品	172,656	234,405
その他	84,837	83,355
流動資産合計	2,292,116	2,574,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	74,643	79,268
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	12,722	24,041
土地	296,000	296,000
リース資産(純額)	22,926	25,657
使用権資産(純額)	124,631	132,961
建設仮勘定	7,594	—
有形固定資産合計	538,518	557,928
無形固定資産	5,227	4,504
投資その他の資産	182,799	39,116
固定資産合計	726,544	601,549
資産合計	3,018,661	3,176,414
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,037	31,676
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	875,000	875,000
未払法人税等	63,032	12,317
前受金	46,729	59,963
賞与引当金	4,456	6,922
受注損失引当金	—	8,088
その他	256,881	312,100
流動負債合計	1,286,137	1,306,068
固定負債		
資産除去債務	3,340	3,340
その他	214,713	217,410
固定負債合計	218,053	220,750
負債合計	1,504,191	1,526,818

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,453,894	2,487,795
資本剰余金	673,803	707,705
利益剰余金	△1,610,432	△1,582,806
自己株式	△40	△40
株主資本合計	1,517,224	1,612,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,621	—
為替換算調整勘定	△3,574	21,920
その他の包括利益累計額合計	△14,196	21,920
新株予約権	11,442	15,021
純資産合計	1,514,470	1,649,595
負債純資産合計	3,018,661	3,176,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,135,180	881,757
売上原価	263,229	311,040
売上総利益	871,950	570,716
販売費及び一般管理費	504,744	575,801
営業利益又は営業損失(△)	367,206	△5,084
営業外収益		
受取利息	326	2,743
為替差益	36,683	46,158
補助金収入	—	2,312
輸送収入	1,138	723
その他	270	219
営業外収益合計	38,418	52,158
営業外費用		
支払利息	2,120	972
株式交付費	116	232
営業外費用合計	2,236	1,205
経常利益	403,389	45,868
特別利益		
投資有価証券償還益	—	17,285
特別利益合計	—	17,285
特別損失		
固定資産除却損	5	—
特別損失合計	5	—
税金等調整前四半期純利益	403,383	63,154
法人税、住民税及び事業税	46,612	4,818
法人税等調整額	△157	30,708
法人税等合計	46,454	35,527
四半期純利益	356,929	27,626
親会社株主に帰属する四半期純利益	356,929	27,626

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	356,929	27,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	10,621
為替換算調整勘定	32,387	25,494
その他の包括利益合計	32,387	36,116
四半期包括利益	389,316	63,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	389,316	63,742

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	403,383	63,154
減価償却費	11,301	11,782
株式報酬費用	9,355	14,052
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,696	1,798
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	8,088
受取利息	△326	△2,743
支払利息	2,120	972
為替差損益 (△は益)	△27,991	△26,308
補助金収入	—	△2,312
有形固定資産除却損	5	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	△17,285
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△207,255	△55,845
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△41,613	△58,863
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,030	△8,492
未払金の増減額 (△は減少)	△10,182	△4,103
前受金の増減額 (△は減少)	△59,830	13,233
預り金の増減額 (△は減少)	△2,427	4,536
その他	△33,240	62,601
小計	37,964	4,265
利息及び配当金の受取額	326	2,608
利息の支払額	△2,120	△972
補助金の受取額	6,691	3,912
法人税等の支払額	△4,183	△42,978
法人税等の還付額	1	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,681	△33,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,007	△20,769
無形固定資産の取得による支出	△1,848	—
投資有価証券の取得による支出	—	△8,838
投資有価証券の償還による収入	—	153,400
その他	53	520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,802	124,312
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△29,081	△18,150
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	37,797
財務活動によるキャッシュ・フロー	△29,081	19,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	71,399	56,572
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	78,197	167,367
現金及び現金同等物の期首残高	1,325,507	1,555,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,403,704	1,722,690

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業利益を計上したものの、当第2四半期連結累計期間においては営業損失を計上しております。また、2022年3月期まで5期連続の営業損失を計上しており、転換社債型新株予約権付社債875,000千円の償還期限が2023年12月となっていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、前連結会計年度において、PXBマウスの旺盛な需要環境を背景に過去最高の売上高を計上するに至りましたが、今後も継続して、コンソーシアム活動やCROとの業務提携により新規顧客開拓やPXBマウス及びPXB-cellsの用途拡大を進めてまいります。同時に従来受託試験サービスからPXBマウス販売へのシフトを進めることで、経営資源をマウス生産に集中し、収益基盤の安定化を目指してまいります。

資金面につきましては、当第2四半期連結会計期間末日において、1,722,690千円の現金及び預金を保有しており、今後12ヶ月間の資金繰りを考慮した結果、当面の事業資金を確保していることから当社グループの資金繰りに重要な懸念はありません。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断し、四半期連結財務諸表への注記は記載しておりません。

4. 補足情報

(1) サービス別売上高

		前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
薬効薬理分野	国内	9,726	0.9	32,232	3.7
	海外	558,866	49.2	77,994	8.8
安全性等分野	国内	82,128	7.2	112,803	12.8
	海外	484,458	42.7	658,726	74.7
合計		1,135,180	100.0	881,757	100.0

(2) サービス別受注高

		前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	
		受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
薬効薬理分野	国内	35,926	28,750	45,962	38,480
	海外	263,884	583,421	26,794	21,222
安全性等分野	国内	86,639	13,849	125,245	26,242
	海外	274,926	287,872	696,281	460,730
合計		661,376	913,893	894,283	546,676

(注) 当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントではありますが、事業の傾向を示すためサービス別の売上高及び受注高を記載しております。